

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者保健福祉施策の推進			20年度予算コード	006	整理番号	253	枝番号	
担当部課名	保健福祉部高齢者施策課		コード	142100	昨年度 整理番号	305,306				
係名	管理係		連絡先 電話番号	2242						
上位施策名		No	30 高齢者の社会参加と交流の拡大							
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		13 年度						
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 高齢者実態調査を杉並区在住の60歳以上の区民6,200人及び介護保険の要支援・要介護認定を受けている在宅の第1号被保険者7,200人に実施(平成19年度)		根拠法令等 (1) 介護保険法 (2) (3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	高齢者実態調査 高齢者施策の普及・啓発		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ・保健福祉計画改定、介護保険事業計画改定及び今後の高齢者施策のための基礎資料 ・高齢者が高齢者関連事業を知ることにより、適切なサービス利用につなげる。						
	活動指標名(式)	(1) 高齢者のしおり発行部数 (2) 高齢者実態調査(調査表1件にかかる費用)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 配布率(%) = 配布数 ÷ 高齢者人口 (2) 介護保険満足度(%) = 「ふつう」以上と回答した数 ÷ 回収数						
指標	区分	単位	18年度		19年度		20年度	目標値	目標値に対する19年度の達成率%	
			実績		計画		計画	22年度		
	活動指標(1)	部	95,000		0		0			
	活動指標(2)	円	0		545		461	0		
成果指標(1)	%	76		0		0				
成果指標(2)	%	0		65		48	0			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	19,479		12,671		10,482	4,046	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等	千円								
	(内) 委託費	千円	8,494		5,740		4,120	1,000		
	職員数(常勤 非常勤)	人	5.17	1.00	3.17	3.19				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	46,840		28,974		29,157		0
		非常勤職員分	千円	2,830		0		0		0
	総事業費 + +	千円	69,149		41,645		39,639	4,046		
	単位あたりコスト(-) ÷	円	728							
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円							
特定財源計 +		千円	0		0		0	0		
差引: 一般財源 -		千円	69,149		41,645		39,639	4,046		
受益者負担比率 ÷	%	0.0		0.0		0.0	0.0			
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	高齢者実態調査(委託等)		13,400	人	6,181					
	高齢者施策の普及・啓発(委託等)		50,000	世帯	2,938					
	管理事務費				1,023					
	特養入所調整事務				340					
その他 ()				0						

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 253 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%		活動指標(2)の 19年度達成率%	84.6	19年度予算 執行率%	82.7
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・19年度の高齢者実態調査を受けて、今年度(20年度)に計画を改定しているので予算は減額となっている。 ・19年度に高齢者施策の普及・啓発として作成したステッカーは単年度事業であったため、20年度予算は減額となっている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	区の計画の基礎資料となる高齢者実態調査の重要性は、事業開始当初から変わらない。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	高齢者実態調査に関して、調査項目が多いとの声が寄せられている。					
	今後の予測	今後は実施にあたり、苦情・要望を考慮していく必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 3年に1度行われる、保健福祉計画改定、介護保険事業計画改定の基礎調査であるため。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 調査項目が多いとの声が寄せられている。調査項目を精査することにより回収率が上がる可能性がある。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 1部600円で配布しているが、区の計画の基礎資料でもあり妥当である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 介護保険の内容に関する調査は、介護保険相談員(民生委員)の協力を得て実施していたが、郵送調査で行うことにより経費は削減できる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) ・高齢者実態調査は民間の事業者に委託して実施している。また、調査のうち介護保険の内容に関する調査は介護保険相談員(民生委員)が実施している。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	・高齢者施策の普及・啓発は単年度事業であり、ステッカーを作成し高齢者宅に郵送配布した。封入作業はシルバー人材センターに委託した。					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 介護保険相談員(民生委員)の訪問による調査依頼に抵抗を示す区民が増えている。次回の調査までに調査方法について検討しておく。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 地域で身近な存在である介護保険相談員(民生委員)を知ってもらう良い機会ではあるが、郵送調査にするなどの工夫が必要である。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 21年度は「高齢者のしおり」を作成し、高齢者宅に配布するため予算見積もりは増加する見込みである。		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		まちの湯ふれあい入浴			20年度予算コード	9	整理番号	255	枝番号				
担当部課名	保健福祉部高齢者施策課		コード	142100	昨年度 整理番号	287							
係名	いきがい活動支援係		連絡先 電話番号	2247									
上位施策名		No	30			高齢者の社会参加と交流の拡大							
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	49年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード				
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業								
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 入浴事業は65歳以上の区民と付添者、健康事業は55歳以上の区民		根拠法令等 (1) 老人福祉法第4条1項及び第13条1項 (2) 杉並区ふれあい入浴実施要綱 (3) 杉並区まちの湯健康事業実施要綱									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	区内の公衆浴場を特定の日に、利用料100円で高齢者に開放する。また、公衆浴場を活用した健康事業を、月1回以上実施する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 高齢者が公衆浴場に向き、心身のリフレッシュを図るとともに、高齢者同士の親睦を深めることで、社会参加、交流の拡大が図られる。また、身近な公衆浴場で、継続して健康事業に参加することで、高齢者の健康増進が図られ介護予防につながる。									
	活動指標名(式)	(1) ふれあい入浴年間延べ利用者数 (2) まちの湯健康事業年間延べ参加者数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) ふれあい入浴1回当りの利用者数 = 年間延べ利用者数 ÷ 実施回数 (2) まちの湯健康事業1回当りの参加者数 = 年間延べ参加者数 ÷ 実施回数									
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%					
	活動指標(1)	人	41,456	46,560	37,083	109,920							
	活動指標(2)	人	3,087	3,289	2,632	2,832							
	成果指標(1)	件	79.0	80.0	75.8	80.0							
	成果指標(2)	%	8.7	8.7	7.6	8.0							
総事業費・コスト把握	事業費	千円	29,229	34,079	30,086	58,336	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)						
	(内) 投資的経費等	千円											
	(内) 委託費	千円	29,191	34,039	30,052	58,296							
	職員数 (常勤 非常勤)	人	0.45	0.45	0.43	0.40	活動指標(1)の計画値 ・20年度からふれあい入浴の実施回数を拡大した。 ・対象年齢を65歳以上に変更した。						
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,077	4,113	3,930				3,656			
		非常勤職員分	千円	0	0	0				0			
	総事業費 + +	千円	33,306	38,192	34,016	61,992							
	単位あたりコスト(-) ÷	円	803	820	917	564							
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0				0			
		国・都等からの支出金	千円	9,039	9,352	8,635				8,759			
特定財源計 +		千円	9,039	9,352	8,635	8,759							
差引: 一般財源 -		千円	24,267	28,840	25,381	53,233							
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0								
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)								
	ふれあい入浴(事業委託)		489	回	12,910								
	まちの湯健康事業(委託)		347	回	17,142								
	事務費				34								
	その他 ()				0								

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 255 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	79.6	活動指標(2)の 19年度達成率%	80.0	19年度予算 執行率%	88.3
	公衆浴場の廃業により、ふれあい入浴及びまちの湯健康事業の実施予定回数を12.9%下回った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	浴場組合と協議の上、平成20年度よりふれあい入浴を月2回から月4回に回数を拡大した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	・公衆浴場数 昭和49年度 111か所 平成20年度 36か所 ・高齢者(60歳以上)の人口(総人口に対する比率) 昭和50年 58,463人(10.9%) 平成20年度 130,608人(24.9%)				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	ふれあい入浴が拡大し入浴する機会が増えて嬉しい。健康事業に参加すると体の動きが軽くなり、参加者同士のコミュニケーションがとれて気持ちも明るくなる。				
	今後の予測	・公衆浴場の減少 ・高齢者(60歳以上)人口の増加				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:高齢者の憩いの場として、高齢者同士が親睦を深めることにより、社会参加、交流の拡大に貢献している。また、継続的に健康事業を実施することにより、介護予防を推進することができる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容:				
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容:健康事業の実施曜日や内容を見直すことにより、事業効果が上がる。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容:利用者料金の値上げもあり得るが、無料から100円になった時点での減少結果からも利用者の大幅な減少が見込まれる。				
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:1回あたりの委託料は、公衆浴場の入浴料金の差額と利用者数を基礎に算定しており、受益者負担を見直さない限り困難である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策):区内の公衆浴場を廉価で開放する事業を浴場組合に委託している。ゆうゆう館の入浴事業廃止に伴い、20年度からふれあい入浴の実施回数を拡大したが、週3回あったゆうゆう館の入浴事業に比べ回数の減との声が多い。また、17年度から公衆浴場を活用した健康事業を浴場組合に委託し、シルバー人材センターやNPO法人等に健康事業の講師派遣を依頼している。				
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 20年度からふれあい入浴を拡大したことによる事業効果及び問題点を検証し、予算編成時までに委託経費を含め事業内容を見直す。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	事業規模を継続する。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		風呂っと杉並			20年度予算コード	10	整理番号	256	枝番号				
担当部課名	保健福祉部高齢者施策課		コード	142100		昨年度 整理番号	288						
係名	いきがい活動支援係		連絡先 電話番号	2247									
上位施策名		No	30		高齢者の社会参加と交流の拡大								
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		13 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区風呂っと杉並事業補助金交付要綱								
	50歳以上の区民				(2)								
					(3)								
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)											
区内の公衆浴場を50歳以上4名以上のグループに有料(利用料は浴場によって異なる)で開放し、自主的な活動や交流の拠点とする風呂っと杉並事業に要する経費について、運営費を補助する。		公衆浴場が高齢者の健康や生きがいを目的としたグループ活動の拠点となり、高齢者の社会参加と交流の拡大が図られ、健康増進につながる。											
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標											
(1) 風呂っと杉並事業を実施する浴場数		(1) 1所あたりの1か月の利用者数											
(2)		(2)											
指標		区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値対 する19年度 の達成率%				
		活動指標(1)	所	17	20	17	18						
		活動指標(2)											
		成果指標(1)	人	18.3	22.0	14.6	18.0						
		成果指標(2)											
総事業費・コスト把握		事業費		千円	5,962	10,720	7,571	4,720	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
		(内) 投資的経費等		千円									
		(内) 委託費		千円									
		職員数(常勤 非常勤)		人	0.30	0.30	0.17	0.15	19年度 廃業1所 19年度で施設改修費補助終了				
		人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	2,718	2,742	1,554			1,371		
			非常勤職員分		千円	0	0	0			0		
		総事業費 ++		千円	8,680	13,462	9,125	6,091					
		単位あたりコスト(-)÷		円	510,588	673,100	536,765	338,389					
		財源	受益者負担分		千円	0	0	0			0		
			国・都等からの支出金		千円	2,981	5,360	4,544			2,360		
特定財源計 +			千円	2,981	5,360	4,544	2,360						
差引:一般財源 -			千円	5,699	8,102	4,581	3,731						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0							
19年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)				
		施設改修費助成					8	所	3,990				
		事業運営費助成					1	式	3,581				
		その他 ()							0				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 256 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	85.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	19年度予算 執行率%	70.6
	改修工事を実施した浴場は8所あったが、1件当りに要する経費が少なかったため予算を下回った。				
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	補助金の見直しにより、公衆浴場の施設改修費補助金を19年度で終了した。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	・公衆浴場数 昭和49年度 111か所 平成20年度 36か所 ・高齢者(60歳以上)の人口(総人口に対する比率) 昭和50年 58,463人(10.9%) 平成20年度 130,608人(24.9%)			
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	家に閉じこもりがちだったが、好きな趣味の活動を通して友達ができ外出する機会も増えた。			
	今後の予測	・公衆浴場の減少 ・高齢者(60歳以上)人口の増加			
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:高齢者の健康や生きがいを目的としたグループ活動の拠点とすることで、高齢者の社会参加、交流の拡大に貢献している。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:事業の拡大に積極的な取組みを行うよう浴場組合に働きかける。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:浴場組合の自主事業である。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:実施回数が多くなるほど、浴場組合の持ち出しが多くなる。			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策):協働等による成果と課題:高齢者の活動、交流を促進するために、公衆浴場を開放し実施する杉並浴場組合の自主事業「風呂っつと杉並事業」に要する経費の一部を補助している。			
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)	公衆浴場の自主事業であるにもかかわらず、実施浴場が増えないことが課題である。			

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 公衆浴場が区の目標としている高齢者のグループ活動の拠点となるよう、積極的な取組みを浴場組合に働きかける。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 利用者の高齢化や浴場の廃業等により利用実績が減少している。浴場組合に対し事業内容の見直しや実施浴場の拡大を促し、区はPRなどの後方支援を行うことで新たな利用者を増やす。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 年々高齢者人口が増加し、当事業への支援の必要性が大きいため補助を継続する。		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		いきいきクラブの活動支援			20年度予算コード	11	整理番号	257	枝番号	
担当部課名	保健福祉部高齢者施策課		コード	25350	昨年度 整理番号	291				
係名	いきがい活動支援係		連絡先 電話番号	2247						
上位施策名	No	30		高齢者の社会参加と交流の拡大						
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	33 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規			<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業				
		<input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他			(1) 老人福祉法第4条、第13条2項 (2) 杉並区いきいきクラブ助成要綱 (3) 杉並区いきいきクラブ連合会補助金交付要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	杉並区に83あるいきいきクラブの、社会奉仕活動・友愛活動・生きがい活動・健康づくり等のクラブ活動に対して各クラブの会員数を考慮し助成をする。また、全クラブが加入している連合会に対しても運営費の助成を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 会員一人一人が積極的に社会参加や自立をし、高齢期をいきいきと生活できるようにする。また、連合会は各いきいきクラブの会員増加や社会活動等の推進を積極的に行って行く。				
活動指標名(式)					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標					
(1)	いきいきクラブ加入人員				(1) $\text{いきいきクラブ加入率} = \frac{\text{いきいきクラブ加入数}}{\text{60歳以上の人口}} \times 100$					
(2)					(2) $\text{1ヶ月のボランティア活動回数(クラブあたり)} = \frac{\text{ボランティア活動回数}}{\text{全クラブ数}} \div 12\text{月}$					
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	/	
	活動指標(1)	人	7,540	8,000	7,317	8,000	8,000	91.5		
	活動指標(2)	%								
	成果指標(1)	%	6	6	5	6	6	90.8		
	成果指標(2)	回	16	20	18	20	20	90.0		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	30,415	31,930	29,562	31,041	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0				
	(内) 委託費	千円	0	0	0	0				
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.60	0.60	0.75	0.68				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	5,436	5,484	6,855	6,215			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	35,851	37,414	36,417	37,256				
	単位あたりコスト(-) ÷	円	4,755	4,677	4,977	4,657				
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0			
		国・都等からの支出金	千円	3,302	3,381	3,235	3,305			
特定財源計 +		千円	3,302	3,381	3,235	3,305				
差引: 一般財源 -		千円	32,549	34,033	33,182	33,951				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0					
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	いきいきクラブ助成金(委託等)				29,024					
	福祉大会分担金(委託等)				400					
	都市交流懇談会				107					
	助成事務費				31					
その他 ()				0						

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 257 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	91.5	活動指標(2)の 19年度達成率%	19年度予算 執行率%	92.6
	クラブ会員数の減少が当初の予定より大きかったため。				

前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	
---	--

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	昭和33年当所 高齢者人口29,907人に対し3クラブ 平成5年 高齢者人口95,172人に対し会員数12,071人(12%)クラブ数96 平成10年 高齢者人口107,118人に対し会員数11,606人(11%)クラブ数100 平成15年 高齢者人口118,129人に対し会員数8,224人(7%)クラブ数90 平成19年 高齢者人口124,892人に対し会員数7,279人(5%)クラブ数84 平成20年 高齢者人口129,327人に対し会員数7,051人(5%)クラブ数83 (60歳以上人口住民基本台帳による)
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	いきいきクラブ会員が高齢化しているため、入会しづらい。また魅力的な活動が行われていない。
	今後の予測	65歳以上の高齢者人口(率)の予測:平成22年103,248人(19.17%)、平成27年113,733人(20.95%) (平成19年3月に推計した各年1月1日の数値)

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:区内全域にわたって設立されているクラブの活動により、広範囲にわたる高齢者の社会参加が行われるとともに、地域の社会福祉や高齢者の生きがいを支援する役割を果たしている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: ・会員数増加のためホームページや広報等を利用した積極的なPR活動。 ・研修会、講演会を行い各クラブ指導者の育成を行う。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 助成対象活動の一部についても、各クラブとも会員費を徴収し活動している。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 実績に基づいて補助金額を決定するような方法を取り入れることを検討する。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) ボランティア活動や高齢者の生きがいを向上するための活動、会員増強のための積極的な活動に対して特別活動費として運営費の補助を実施している。
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)	

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
--------------------	---	--

今後の事業のあり方 (中長期)	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 20年度で会長の新旧交代が10クラブも行われ、会長の若返りが図られたが、一部のクラブには会長役員等の高齢化に伴い不在欠員等が生じ活動に支障をきたしている。このため、会長不在等を理由に解散を検討しているクラブには地区の連合会が積極的に支援するように働きかける。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 毎年廃部するクラブがでてきているが、会員に危機感がない。一人ひとりの会員ができることなど福祉大会などを通じ、連合会とともに啓蒙していく。

21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 クラブの活性化を図るため、連合会の行事などの広報を通じ一般区民にPRすることで、会員数の増を図る予定であるが、大幅な予算の増減はない。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		シルバー人材センター支援			20年度予算コード	012	整理番号	258	枝番号	
担当部課名	保健福祉部高齢者施策課		コード	25550	昨年度 整理番号	292				
係名	いきがい活動支援係		連絡先 電話番号	2246						
上位施策名		No	30		高齢者の社会参加と交流の拡大					
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		54年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等 (1) 高齢者等の雇用の安定等に関する法律第5条 (2) 杉並区シルバー人材センター補助金交付要綱 (3) 杉並区シルバー人材センター運転資金貸付要綱						
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 (社)杉並区シルバー人材センター		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 杉並区シルバー人材センターの安定した事業運営を図る。						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	杉並区シルバー人材センターの円滑な事業運営のため、補助金の交付及び運転資金の貸付を行う。								
	活動指標名(式)	(1) 就業実人員数 (2) 月平均会員数(各月末会員数の和÷12月)		成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) 延べ受託件数(月単位で実績のあった受託件数の累計) (2) 会員の就業率(就業実人員数÷月平均会員数)						
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値対 する19年度 の達成率%	/	
	活動指標(1)	人	1,864	1,961	1,875	1,982	2,073	90.4		
	活動指標(2)	人	2,693	2,802	2,693	2,800	3,588	75.1		
	成果指標(1)	件	15,879	18,114	16,454	19,667	23,197	70.9		
成果指標(2)	%	70	70	70	71	80	87.4			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	167,063	173,568	166,637	173,532	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0				
	(内) 委託費	千円	0	0	0	0				
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.30	0.30	0.25	0.25				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	2,718	2,742	2,285	2,285			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費 ++	千円	169,781	176,310	168,922	175,817				
	単位あたりコスト(-)÷	円	91,084	89,908	90,092	88,707				
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0			
		国・都等からの支出金	千円	14,382	12,495	12,495	12,495			
特定財源計 +		千円	14,382	12,495	12,495	12,495				
差引:一般財源 -		千円	155,399	163,815	156,427	163,322				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0					
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	人件費(常勤職員人件費)		1	式	111,073					
	運営費(嘱託員、臨時職員人件費、管理経費など)		1	式	43,156					
	事業費		1	式	7,358					
	運転資金貸付		1	式	5,000					
その他 (全国シルバー人材センター事業協会賛助金)		1	式	50						

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 258 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	95.6	活動指標(2)の 19年度達成率%	96.1	19年度予算 執行率%	96.0
	管理運営費(方南・清水分室人件費)で一部不用額があったものの、予算執行率は96%であり、適正な範囲内である。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	区内全域に新聞折り込みによるPRや会員自身によるPRチラシのポスティングなど、普及啓発活動による規模の拡大に努めた。また研修・講習による知識・技能、接客態度の向上や、事務処理の効率化に引き続き取り組み、その結果として、延べ受託件数が増加するとともに、お客様満足度調査を行い接客態度の向上に努めた。平成17年度に策定した、向こう10年間の「中長期計画」の基本指針に基づいた着実な事業の推進を図った。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	60歳以上の総人口(区)に占める割合:昭和54年 8.57% 平成20年 24.34% シルバー人材センター会員数: 昭和54年度 1,280人 平成19年度 2,693人				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	会員数の増加とともに、会員の就業に対する考え方も多種多様になってきている。そのため、シルバー人材センターの会員になってもなかなか自分の希望する仕事に就業することができないという苦情がある。また、一般区民からセンター会員に対する接客態度に対する苦情もある。				
	今後の予測	団塊の世代が定年を迎え、優れた知識・技能、そして多様な考え方をもちた高齢者が、地域に戻ってくる。会員の幅広い就業に対する要望に応えられるようホワイトカラー向けをはじめとする就業機会の確保、事業開拓がより一層求められるとともに、公益法人として如何に地域貢献をしていくかが課題となる。				
事業のあり方 点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由:シルバー人材センターは、高齢者に就業の機会を提供することにより、高齢者の社会参加や生きがいづくりの面で大きく貢献している。「いきいき元気に生涯現役」を目標とする区として、その支援は重要な施策である。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:「中長期計画」に定めたビジョン、基本指針、中期計画に基づいた着実な事業の推進を図り、様々な職種の開拓、拡大により会員数、就業者数の増加を図る。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:該当しない				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容:中長期的に、会員数、就業者数、契約件数、契約金額の増加等により法人全体としての経営状況が安定すれば補助金額を削減することができる。				
協働等 点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策):(社)杉並区シルバー人材センターの円滑な事業運営のため、人件費、管理運営費、事業費の一部に対し補助金を交付している。また、同センターの事業周知を広報すぎなみによって行っている。また、ゆうゆう浜田山館にて協働で、「みんなで地域デビュー」をテーマに様々な事業を展開している。				
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)に 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 「中長期計画」に基づき、幅広い就業機会の開拓確保を図り、会員、就業会員の増加を図る。また公益法人として地域高齢者へのサービス提供なども含め、広く地域貢献を行う人材センターとして活動できるよう、区としても引き続き安定した支援を行っていく。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 会員の拡大には、ホワイトカラー向けの就業機会の開拓拡大が急務であるが企業側の求人需要は依然として小さい。また、公共事業への依存度を低くするためにも、完成度の高い仕事の履行、接客態度の向上による民間顧客の確保に努める必要がある。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 センターの中長期計画に基づき公益性と収益性のバランスの取れた経営等、改革に努めるよう協力を求め続ける。公共事業や補助金に依存しない事業運営ができる財政基盤としていくことが望ましいが、中長期計画に基づいた安定した事業運営を図るため、引き続き前年度程度の補助金が必要である。	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者いきがい活動支援		20年度予算コード	40102013	整理番号	259	枝番号			
担当部課名	保健福祉部高齢者施策課		コード	091403		昨年度 整理番号	293, 294, 295, 316				
係名	いきがい活動支援係		連絡先 電話番号	2247							
上位施策名	No	30		高齢者の社会参加と交流の拡大							
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 58年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	(3)	施策番号	事業コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業		<input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 概ね50歳以上の区民		根拠法令等 (1) 老人福祉法第4条 (2) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 (3) 杉並区社会貢献スタッフ派遣事業運営要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	高齢者活動支援センターやゆうゆう館で、高齢者のいきがい、健康づくり、パソコン等に関する講座などを、地域のNPO法人・団体等と協働で開催する。また地域で活動するNPO・団体で構成される「高齢者いきがい事業協働推進連絡会」で、高齢者活動団体の連携、ネットワークづくりを図る。社会貢献意欲のある者には、技術・技能を取得する講座を開催し、一定レベルに達した者は社会貢献スタッフとして登録し、講師の派遣要望のあったグループ等に派遣する。また、杉の樹大学の各種講座に企画運営等をNPO法人に委託する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 定年を迎え、地域に戻ってくる団塊の世代を含め高齢者に、生きがいを高める活動・学習の場を提供するとともに、地域で活動する団体相互の情報交換・連携による事業の拡大で、高齢者が地域の中で生きがいを持って暮らしていけるようにする。							
	活動指標名(式)	(1) イベント・事業参加者数 (2) 高齢者いきがい事業協働参加実施団体数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) ゆうゆう館協働事業の1館当りの年間参加者数(26,649人÷15館) (2) 社会貢献スタッフ年間延べ派遣人数							
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する19年度 の達成率%			
	活動指標(1)	人	25,310	23,020	36,740	37,000	19,580	187.6			
	活動指標(2)	団体	18	22	22	25	45	48.9			
	成果指標(1)	人	1,576	1,700	1,870	2,000	2,000	93.5			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	18,600	18,172	15,168	8,278	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など) 19年度の「高齢者いきがい事業」、「社会貢献スタッフ派遣事業」、「高齢者活動支援センター事業・ゆうゆう館事業」、「高齢者のための起業・就労支援」を20年度は1本にまとめ「高齢者いきがい活動支援」に移行した。これに伴い活動指標にイベント・事業参加者数と高齢者いきがい事業協働参加実施団体数を使用し成果指標にはゆうゆう館協働事業の1館当りの年間参加者数と社会貢献スタッフ年間延べ派遣人数を使用する。				
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0	0					
	(内)委託費	千円									
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.60	1.60	1.80	1.82					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	14,496	14,624	16,452	16,635				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	33,096	32,796	31,620	24,913					
	単位あたりコスト(-)÷	円	1,308	1,425	861	673					
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円	6,224	7,704	5,694	3,275				
特定財源計 +		千円	6,224	7,704	5,694	3,275					
差引: 一般財源 -		千円	26,872	25,092	25,926	21,638					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0						
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)						
	ゆうゆう館いきがい活動支援事業		123	回	9,936						
	杉の樹大学		1	年間	3,777						
	高齢者のための起業支援・就業支援		23	回	886						
	杉の樹ホール事業		41	回	237						
その他 (社会貢献スタッフ派遣、高齢者いきがい事業協働推進連絡会)		4	回	332							

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 259 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	159.6	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	83.5
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		地域のNPO・団体等とさまざまな事業を協働で開催することや社会貢献スタッフを育成しボランティアとして活動させることで、より少ない経費で事業の運営を実現することができた。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	区の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合) 昭和50年7.42% 平成元年11.44% 平成20年18.68%、					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	定年後の過ごし方として、今までの経験や技術を活かして地域で活動をしたい、仲間がほしいなど社会参加への希求がある。					
	今後の予測	区の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合) 平成20年 99,589人 18.63% 平成22年 103,248人 19.17%(区推計) 高齢社会が進む中、団塊の世代が定年を迎え、地域社会の人口構成が急速に変化する。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 高齢者活動支援センターやゆうゆう館での事業に多数の参加者があり、高齢者の健康やIT関係などへの学習意欲の高まりが確認されている。地域で活動する団体の交流や情報交換が積極的に行われ、新しい活動機会の提供が図られつつある。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 地域のNPO法人や団体が主体的に運営できるような環境整備をする。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 事業の実施は、ある程度受講者からの受講料で運営する。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容)	理由または具体的内容: 受益者負担の導入と、魅力ある事業を実施することで、高齢者の参加者が増えれば経費が削減される。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄					
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働による成果と課題: NPO法人や地域の団体の参加、協力を得て、少ない経費で実施することができた。今後、団塊の世代が地域に戻ることで、ますます多様化する、高齢者の学習・地域活動への要望に応えられるよう、ゆうゆう館協働事業者による、様々な協働事業を展開する。					
	(3) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)	協働の形態: 共催、後援、助成(備品等貸与)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成22年度までに全ゆうゆう館を協働事業実施館とし、高齢者の「いきがい学び」「ふれあい交流」「健康づくり」の場としての活用を図る。設置から3年が経過する「高齢者いきいき事業協働推進連絡会」の自主運営をめざす。また、ゆうゆう館を会場とした健康事業などを委託化し、社会貢献スタッフの活動の場としての確保をめざす。						
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 全ゆうゆう館を協働事業実施館にするには、受託団体の確保が最大の課題であったが、20年度にすぎなみ地域大学において協働事業受託団体を対象とした講座を開設し、協働事業実施者の確保に努めることとなったため、今後もすぎなみ地域大学との連携を強化していく。また、すぎなみ地域大学との連携により社会貢献スタッフの育成を図る。						
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
(2) 理由 地域のNPO法人や団体との協働事業を進め、より少ない経費で、高齢者への学習・社会参加の場をさらに提供する。また委託可能な事業はNPO法人に委託し社会貢献スタッフの活動の場として事業を展開する。							

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者活動支援センター事業運営		20年度予算コード	031	整理番号	264	枝番号		
担当部課名	保健福祉部 高齢者施策課		コード	091401	昨年度 整理番号	315				
係名	管理係(施設担当)		連絡先 電話番号	2245						
上位施策名		No	30	高齢者の社会参加と交流の拡大						
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	58年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 ・60歳以上の区民で構成される10名以上の団体(ゲートボール場) ・60歳以上の区民(健康相談)		(1) 老人福祉法 (2) 杉並区高齢者ゲートボール場管理運営要綱 (3) 杉並区立高齢者活動支援センター運営協議会設置要綱						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)	・高齢者の健康増進及び高齢者団体の活動支援のため、高齢者ゲートボール場を運営する。 ・高齢者の健康保持や生活全般に関する相談業務等を行う。 ・高齢者活動支援センターの管理運営について、区民の意見を反映させるため、杉並区立高齢者活動支援センター運営協議会を設置する。		事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) ・スポーツ活動(ゲートボール)を通して、高齢者の社会参加の機会が拡充されることにより、元気高齢者が増加する。 ・運営協議会を設置し、区民の代表である委員からの意見が施設運営に反映される。 ・健康相談の実施により、高齢者の健康的な生活をサポートする。						
	活動指標名(式)	(1) ゲートボール登録団体数 (2)		成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) 一週間に1回以上活動できた団体数 ÷ 登録団体数 × 100 (2)						
指標	区分	単位	18年度		19年度		20年度	目標値	目標値に対する19年度の達成率%	
			実績		計画		計画	22年度		
	活動指標(1)	団体	17		17		21	22	90.9	
	活動指標(2)									
成果指標(1)	%	85.55		100.00		83	100.00	83.0		
成果指標(2)	%									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	361		485		429	495	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等	千円								
	(内) 委託費	千円	257		274		260	260		
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.75	1.00	0.65	1.00	0.66	0.40	0.68	0.40
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	6,795		5,941		6,032	6,215	
		非常勤職員分	千円	2,830		2,770		1,108	1,108	
	総事業費 ++	千円	9,986		9,196		7,569	7,818		
	単位あたりコスト(-)÷	円	587,412		540,941		378,450	372,286		
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円							
特定財源計 +		千円	0		0		0	0		
差引:一般財源 -		千円	9,986		9,196		7,569	7,818		
受益者負担比率 ÷	%	0.0		0.0		0.0	0.0			
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	高齢者ゲートボール場清掃等委託		1	所	260					
	運営協議会委員謝礼(2回)		12	人	144					
	健康相談		1	年	16					
	その他 (光熱水費 外)				9					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 264 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	117.6	活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	88.5
		ゲートボール場に関しては、最低限の委託内容にとどめており、これ以上の削減は困難である。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	全国的にゲートボール人口は減少傾向にある。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	消耗品類の区での購入を最小限にとどめているため、必要なものを十分に購入してもらえないという苦情がある。					
	今後の予測	自主的な会費等の中から、活動に必要な経費(消耗品購入等)を負担してもらおうよう理解を求め。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	長寿社会の進展の中で、今まで以上に生きがいづくり、健康保持の場として期待が寄せられる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	他のスポーツにも対応できるよう、施設整備を考えていく必要がある。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	施設の使用自体は、他の高齢者を対象とした施設とのバランスからも無料とすることが妥当と思われる。また、将来的には自主管理の方式にすることが望ましい。当面は、自主的な会費等の中から、活動に必要な経費(消耗品購入等)を負担してもらおう方向への理解を求めていく。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	現在の経費は必要最小限となっているので、現状ではこれ以上の削減はできない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	完全自主管理とすることが望ましい。					
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在の登録団体等の組織強化を図り、完全自主管理体制とする。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	・基本的には現行どおりの運営とし、消耗品類の自己負担への理解を求めていく。 ・登録団体の活動状況等を調査する。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ゆうゆう館の運営			20年度予算コード	032	整理番号	265	枝番号					
担当部課名	保健福祉部高齢者施策課		コード	091401		昨年度 整理番号	317							
係名	管理係(施設担当)		連絡先 電話番号	2245										
上位施策名		No	30		高齢者の社会参加と交流の拡大									
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		38年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	(3)	施策番号	事業コード	1	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業		<input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 60歳以上の区民及びゆうゆう館協働事業参加者 NPO法人等の協働事業実施団体				根拠法令等		(1) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 (2) 老人福祉法 (3) 老人憩いの家設置運営について						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	ゆうゆう館の受付業務及び館清掃等をNPO法人等の公共的団体または民間企業に委託する。 ゆうゆう館協働事業実施団体に対する評価を実施するため、評価委員会を開催する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		NPO法人等の公共的な団体との協働により、効率的かつ魅力あるゆうゆう館の管理運営を図る。						
	活動指標名(式)	(1) 協働事業実施館数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 協働化率 = 協働事業実施館数 ÷ ゆうゆう館数						
		(2)				(2)								
区分		単位	18年度 実績	19年度 計画		20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の 達成率%						
指標	活動指標(1)		館	9	16	15	16	31	48.4					
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		%	29.03		45.16	70.97	100	45.2					
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	99,860	140,921	134,403	143,777	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)						
	(内) 投資的経費等		千円											
	(内) 委託費		千円	99,508	140,718	134,271	142,807							
	職員数(常勤 非常勤)		人			0.62	0.04	0.61	0.04		18年度までは、「ゆうゆう館施設維持管理及び運営委託」として評価表を作成。			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	0	0	5,667	5,575						
		非常勤職員分		千円	0	0	111	111						
	総事業費 + +		千円	99,860	140,921	140,181	149,463							
	単位あたりコスト(-) ÷		円	11,095,556	8,807,563	9,345,400	9,341,438							
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
特定財源計 +		千円	0	0	0	0								
差引: 一般財源 -		千円	99,860	140,921	140,181	149,463								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0								
19年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)					
		ゆうゆう館受付等業務委託(うち協働事業館15館)					19	館	134,271					
		ゆうゆう館評価委員会開催					3	回	132					
		その他 ()							0					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 265 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	93.8	活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	95.4
		18年度に実施したゆうゆう館7館の協働事業提案募集は、応募団体の力量不足等により5館の選定にとどまったため、実施計画は2館の減となっている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・受付等業務委託館数は、平成19年度19館(うち協働事業館15館)となった。 ・ゆうゆう館協働事業及びその実施団体に対する評価の実施に向けて準備を行った。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	受付等業務委託館は、平成18年度16館(うち協働事業館9館)から平成19年度は19館(うち協働事業館15館)に増加した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	概ね順調に館の管理運営が行われており、ゆうゆう館全館での利用者総数は始めて30万人を超え、ほとんど利用がなかった前期高齢者層の利用も増加しつつある。ただし、従来からゆうゆう館を利用していた高齢者団体等からは、希望する日時での活動ができなくなったなどの苦情も寄せられている。					
	今後の予測	ゆうゆう館全館での協働化を目指す。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:長寿社会の進展の中で、ゆうゆう館の果たす役割・機能が大きく注目されている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容)	理由または具体的内容:ゆうゆう館全館においてNPO法人等との協働化を目指すためには、必然的に受付等業務の委託料が増大する。 理由または具体的内容:協働実施館(受付等業務委託)を増やす。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:協働事業の参加者にはある程度の負担を求めることは可能だが、生涯現役社会の地域拠点として、一人暮らし高齢者や引きこもり高齢者なども視野に入れた施設運営においては、利用者に負担を求めることは難しい。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:ゆうゆう館の受付等業務は、必要な人員配置をすることが基本であることから、現行の委託料等の削減は難しい。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 協働事業の実施とその波及効果から、ゆうゆう館全館での利用者総数は、はじめて30万人を超えることになった。また、ほとんど利用がなかった前期高齢者層の利用も増加しつつある。					
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・22年度までに、ゆうゆう館全館での協働化を目指す。 ・ゆうゆう館協働事業及びその実施団体の質と力量等の向上のため、必要な評価を実施する。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ゆうゆう館全館での協働化を目指すためには、その受け皿となるNPO法人等の実施団体の質と力量等の向上を図る必要がある。そのために今年度から、すぎなみ地域大学において、NPO法人等の団体構成員を対象する、ゆうゆう館運営受託講座を開催する。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 実施計画に基づき、21年度から新たに8館でゆうゆう館協働事業を実施する予定であり、それに伴う受付等業務の委託料が増加する。	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		三療サービス			20年度予算コード	33	整理番号	266	枝番号	
担当部課名	保健福祉部高齢者施策課		コード	29950		昨年度 整理番号	318			
係名	いきがい活動支援係		連絡先 電話番号	2247						
上位施策名		No	30		高齢者の社会参加と交流の拡大					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		48年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 60歳以上の区民 杉並区高齢者三療サービス連絡協議会				根拠法令等 (1) 杉並区高齢者活動支援センター及び敬老会館設置条例 (2) 杉並区三療サービス事業実施要綱 (3) 杉並区高齢者活動支援センター三療サービス事業実施要綱			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		ゆうゆう館(31館)及び高齢者活動支援センターにおいて、マッサージ・はりの三療サービスを「杉並区高齢者三療サービス連絡協議会」に委託して実施する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 自宅に近いゆうゆう館でマッサージを受けることで身体機能の維持・介護予防の促進を図る。 また、診療所を持たない視覚障害者の自立支援を推進することができる。			
	活動指標名(式)		(1) 三療サービスゆうゆう館利用者数 (2) 三療サービス高齢者活動支援センター利用者数				成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) ゆうゆう館利用率 = 利用者数 / 60歳以上の区民 × 100 (2) 高活センター利用率 = 利用者数 / 60歳以上の区民 × 100			
指標	区分	単位	18年度	19年度		20年度	目標値	目標値に対する19年度の達成率%	/	
			実績	計画	実績	計画	22年度			
	活動指標(1)	人	4,751	4,800	4,763	4,800	4,800	99.2		
	活動指標(2)	人	2,848	2,900	2,718	2,900	2,900	93.7		
成果指標(1)	%	6	6	6	6	6	96.7			
成果指標(2)	%	2	2	2	2	2	94.0			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	12,630	12,970	12,737	13,851	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0			
	(内) 委託費		千円	11,087	11,093	11,054	11,612			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.40	0.30	0.38	0.35			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	2,718	2,742	3,473	3,199			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	15,348	15,712	16,210	17,050			
	単位あたりコスト(-)÷		円	3,230	3,273	3,403	3,552			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0		
		国・都等からの支出金		千円	5,755	5,930	5,930	6,363		
特定財源計 +		千円	5,755	5,930	5,930	6,363				
差引: 一般財源 -		千円	9,593	9,782	10,280	10,687				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)		
		ゆうゆう館事業委託						9,968		
		高齢者活動支援センター事業委託						1,086		
		役務費 寝具等乾燥						1,347		
		需用費						336		
その他						0				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 266 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	99.2	活動指標(2)の 19年度達成率%	93.7	19年度予算 執行率%	98.2
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		利用率・サービス向上のため、杉並区高齢者三療サービス連絡協議会が施術者の技術の向上を図る講習会を実施。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	東京都の高齢者人口(65歳以上)の構成比 平成10年14.48% 平成15年17.14% 平成20年19.38% 杉並区の高齢者人口(65歳以上)の構成比 平成10年15.71% 平成15年17.52% 平成20年18.92%					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	施術者の技術にばらつきがある。施術を受ける回数を増やしたい。					
	今後の予測	高齢者の増加に伴い需要が見込まれる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 中(理由)	理由: 高齢者の身体機能の維持・介護予防の促進に一定の役割を果たしている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 施術者の技術・サービスの向上を図る。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容:現在も700円を徴収して利用者に施術を行っているが、金額を上げることで利用者の減少につながるおそれがある。なお、その料金については施術者の収入となっている。					
(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容)	理由または具体的内容: ゆうゆう館での施術実績による委託料の変更。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 受益者負担の見直しをした場合、利用者が減少することが予想されるので、当分は現状のまま事業を委託する。					
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成17年度から実施した対象者を要介護認定で非該当となった方など比較的虚弱な高齢者に絞り、優先的に施術を受けられる内容の積極的なPRを行うとともに、利用率の上がない館については、他の利用率の高い館への回数を増やすことをする。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ゆうゆう館での対象者は60歳以上となっているが、利用者が固定している。しかし、区内で施術を行っている一般の施術者に対する配慮のため積極的なPRがでない。ゆうゆう館での周知徹底や、介護予防の観点に基づいた施術者の技能向上が必要と考えられる。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 実施方法等の変更はあると考えられるが、実施回数などの事業規模については大幅な変更を計画していないため、予算については現状維持と見込まれる。		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		敬老事業			20年度予算コード	034	整理番号	267	枝番号		
担当部課名	保健福祉部高齢者施策課		コード	30150	昨年度 整理番号	311・312・313					
係名	いきがい活動支援係		連絡先 電話番号	2246							
上位施策名		No	30		高齢者の社会参加と交流の拡大						
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		27年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 75歳以上の高齢者 75歳、81歳、100歳以上の高齢者				根拠法令等 (1) 老人福祉法第4条、5条、第13条第1項 (2) (3)					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）	高齢者の長寿を祝うため、式典及び演奏会を開催する。 敬老会式典と併せて、半寿（81歳）の顕彰式典を開催する。 対象者に敬老祝い品を贈呈する（戸別配達）				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 対象者が、後期高齢期を健やかに過ごし、これからの活動への意欲が高められるようにする。また、敬老会や地域交流会の開催により地域の子どもたちを含む人々と交流することで、孤立しがちな高齢者の孤独感の解消を図る。					
	活動指標名(式)	(1) 敬老会・半寿顕彰式典参加案内状発送数 (2) 祝い品贈呈者数(75歳、81歳、100歳以上)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 敬老会・半寿顕彰式典来場率(来場者 ÷ 対象者数) × 100 (2) (代) 敬老イベント・地域交流会参加者数実績対前年比					
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%			
	活動指標(1)	人	5,914	4,000	4,332	5,000	5,820	74.4			
	活動指標(2)	人	7,771	8,240	8,050	8,500	9,000	89.4			
	成果指標(1)	%	13	8	9	10	10	88.0			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	26,007	33,039	28,127	35,671	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0					
	(内) 委託費	千円	6,528	4,710	6,510	7,560					
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.45	1.45	1.44	1.32	昨年までの「長寿祝い品贈呈」「75歳・81歳(半寿)顕彰」「敬老会・81歳(半寿)顕彰」の3事務事業評価表を今年度は「敬老事業」に統合した。				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	13,137	13,253	13,162					12,065
		非常勤職員分	千円	0	0	0					0
	総事業費 + +	千円	39,144	46,292	41,289	47,736					
	単位あたりコスト(-) ÷	円	6,619	11,573	9,531	9,547					
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0					0
		国・都等からの支出金	千円	5,475	5,199	5,116					5,141
特定財源計 +		千円	5,475	5,199	5,116	5,141					
差引: 一般財源 -		千円	33,669	41,093	36,173	42,595					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0						
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)						
	敬老会・半寿顕彰式典開催		6	回	11,811						
	75歳・81歳祝い品贈呈		7,832	人	14,225						
	長寿祝い品贈呈		218	人	1,918						
	その他 (敬老イベント・地域交流会)				173						

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 267 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	108.3	活動指標(2)の 19年度達成率%	97.7	19年度予算 執行率%	85.1
		敬老会・半寿顕彰式典で参加申込み制を採用したところ、4,000人の定員に対し6,000人強の申込者があったため、2回追加公演を開催したため予算を超えて執行したが、祝い品の契約落札差金が生じたため、事業全体としては予算の範囲内で執行することができた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		今年度で、81歳(半寿)該当者へのカード贈呈、及び半寿顕彰式典での舞台登壇顕彰を廃止 今年度で、地域交流会開催を委託(ゆうゆう館受付・管理業務受託者:NPO法人等)					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	事業(敬老会)を開始した当時は戦後で娯楽の少ない時代であったが、現在は日常的に趣味や娯楽を楽しめる時代になった。75歳以上の高齢者人口(区総人口に対する比率)は次のとおりである。昭和27年 2,993人(0.8%) 平成20年 49,036人(9.17%)					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	お礼や喜びの手紙等が寄せられている反面、祝いの品の種類や、敬老会の開催内容に対しての要望もあった。また、昨今の高齢者が犠牲となる詐欺事件等の増加という社会背景により、お祝い品に対して本当に区からの配送品かどうかの確認の電話があった。					
	今後の予測	対象者の増加					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:高齢者の慶事の祝いのための事業であり、区民の期待や関心が高く、高齢者のひきこもりの防止や交流の拡大に貢献している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 敬老会や地域交流会などのイベントは全面委託化検討の余地あり					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:慶事の祝いに受益者負担はなじまない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [対象の縮小] (具体的内容)	理由または具体的内容:年齢引き上げによる対象者の縮小					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)区内幼稚園・保育園に敬老会・半寿顕彰式典への出演依頼をし、こどもたちの歌や踊りによる81歳(半寿)該当者へのお祝い会を開催するとともに、区内幼稚園・保育園・児童館に81歳(半寿)該当者へのお祝いカード作成協力を依頼した。また、ゆうゆう館や保育園、高齢者施設などに、高齢者と子どもたちとの交流会の開催を呼びかけ実施した。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区内高齢者の意向を調査し、対象者を現状のままでよいかを含めた敬老事業全体の内容を検討する必要がある。なお、検討は民間事業者、NPO法人等地域の公益法人や団体と協働で検討する。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	対象者は年々拡大傾向にあるため。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者活動支援センターの維持管理 <small>20年度予算コード</small>			012	整理番号	269	枝番号		
担当部課名	保健福祉部 高齢者施策課		コード	142100	昨年度 整理番号	314				
係名	管理係(施設担当)		連絡先 電話番号	2245						
上位施策名		No	30		高齢者の社会参加と交流の拡大					
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	58年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <small>政策番号</small> <small>施策番号</small> <small>事業コード</small> <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 60歳以上の区民及び高齢者活動団体		(1) 老人福祉法第4条、第5条の3、第15条、第20条の7 (2) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 (3) 老人福祉法による老人福祉センターの設置及び運営について						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)	60歳以上の区民の福祉増進を図るため、各種相談や健康増進、教養の向上及びレクリエーション活動の支援を目的に設置した高齢者活動支援センターの施設維持管理を行う。		事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 多くの高齢者の施設利用によって、相互の交流を活発にし、高齢者の社会参加の機会を拡充する。 高齢者の自主的団体活動に対する支援によって、新たな生きがいづくりや仲間づくりを促進し、元気高齢者の増加に寄与する。						
	活動指標名(式)	(1) 年間利用者数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) センター利用率 年間利用者数 ÷ 60歳以上区民数 × 1回 × 12月 (2) 月1回の利用を標準利用とした。						
区分		単位	18年度		19年度		20年度	目標値	目標値に対する19年度の達成率%	
			実績		計画		計画	22年度		
指標	活動指標(1)		人	82,770	84,425	82,705	86,675	89,795	92.1	
	活動指標(2)									
	成果指標(1)		%	7.90	8.04	7.62	7.62	8.00	95.3	
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	41,879	54,487	43,238	69,781	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円							
	(内) 委託費		千円	18,925	27,290	20,483	27,780			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.75 1.00	0.65 1.00	0.77 0.64	0.79 0.53			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	6,795	5,941	7,038	7,221		
		非常勤職員分		千円	2,830	2,770	1,773	1,468		
	総事業費 + +		千円	51,504	63,198	52,049	78,470			
	単位あたりコスト(-) ÷		円	622	749	629	905			
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	51,504	63,198	52,049	78,470				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)	
		建物総合管理委託					1	式	20,483	
		建物修繕、消耗品購入等					50	回	1,601	
		その他 (光熱水費 外)							21,154	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 269 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	98.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	19年度予算 執行率%	79.4
		複合施設関係各課との連絡調整体制を強化し、効率的かつ効果的な施設修繕等に取り組んでいる。				
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		引き続き、一層の施設関係各課との連絡調整体制の強化を図り、効率的かつ効果的な施設修繕等に取り組んでいく。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	老人福祉センターとして開館してから25年が経過し、施設全般で老朽化が見られる。平成15年4月から高齢者団体の自主的な活動拠点となるよう、事業はNPO法人へ委託し、受付業務を含めた施設管理は、併設の地域区民センターとの総合管理として、民間企業への委託を開始した。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	施設の老朽化に伴う修繕等の要望				
	今後の予測	杉並清掃工場建替工事が近く予定されており、工事期間中は必要な熱源供給が停止される。それに対応するための施設改修工事等に合わせ、これからの長寿社会に対応できる施設改修を実施する必要がある。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:長寿社会の進展の中で、今まで以上に生きがいつくり、仲間づくりの場として大きな期待が寄せられる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容)	理由または具体的内容:施設の老朽化に伴う修繕経費等の増加 理由または具体的内容:指定管理者を視野に入れた新たな協働による施設運営への移行				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:杉並清掃工場建設時の和解事項等の経緯や、老朽化が進行している施設の現状から、新たに受益者負担を求めることは困難である。施設の大規模改修に合わせ、指定管理者や民営化などを視野に入れ、これからの時代に対応した新たな施設運営への方策を検討する必要がある。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:コストは、施設維持管理に関する経費であり、施設の老朽化が進行している状況から、経費削減は困難である。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 現在、施設管理面、事業運営面とも業務委託により対応しているが、それぞれ違った組織・団体への委託のため、施設運営が円滑に運ばないことも多い。施設の大規模改修に合わせ、指定管理者や民営化などを視野に入れ、これからの時代に対応した新たな施設運営への方策を検討する必要がある。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 施設建設時の経緯等を踏まえつつ、施設の大規模改修に合わせ、指定管理者や民営化などを視野に入れた、新たな施設運営への方策等を検討する必要がある。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 施設建設時の和解事項の取り決め等により、施設用途及び運営方法などに制限がある。	
	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 ・杉並清掃工場建替工事が近く予定されており、工事期間中は必要な熱源供給が停止されるため、長期間の熱源供給に対応できるボイラー等の設置が必要である。また、それに合わせ、これからの長寿社会に対応できる施設とするための改修設計等が必要である。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ゆうゆう館の維持管理			20年度予算コード	013	整理番号	270	枝番号	
担当部課名	保健福祉部高齢者施策課		コード	091401	昨年度 整理番号	317				
係名	管理係(施設担当)		連絡先 電話番号	2245						
上位施策名		No	30		高齢者の社会参加と交流の拡大					
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		38年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号	事業コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 60歳以上の区民、高齢者団体及びゆうゆう館協働事業参加者				根拠法令等 (1) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 (2) 老人福祉法第4条 (3)				
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)	・利用者が安全かつ快適に施設の利用できるよう、施設の維持管理を行う。				事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 元気な高齢者の声が響き渡る地域社会が形成できるよう、生涯現役社会の地域拠点としてゆうゆう館が、高齢者のみならず地域住民の「いきがい学び」「ふれあい交流」「健康づくり」「憩い」の場として幅広く活用される。				
	活動指標名(式)	(1) 年間延利用者数 (2) 利用団体数(高齢者活動登録団体)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) $\frac{60歳以上区民のゆうゆう館利用率 = 年間延利用者数 \div (60歳以上の区民人口 \times 2回 \times 12月) \times 100}{月2回を標準利用回数とする}$ (2) $\frac{ゆうゆう館団体用諸室平均稼働率 = 実際の利用数 \div 利用可能回数}$				
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画		20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%		
	活動指標(1)	人	284,545	296,000	312,006	312,000	312,000	100.0		
	活動指標(2)	団体	642	668	733	733	700	104.7		
	成果指標(1)	%	5	5	5	5	5	100.0		
	成果指標(2)	%	34	40	45	45	42	107.1		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	70,087	74,716	65,246	101,747	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円								
	(内) 委託費	千円	10,968	12,667	11,128	13,104				
	職員数(常勤 非常勤)	人	10.90 23.80	9.80 17.80	9.65 18.10	9.73 17.80	18年度までは、「ゆうゆう館施設維持管理及び運営委託」として評価表を作成。			
	人件費	千円	98,754	89,572	88,201	88,932				
	非常勤職員分	千円	67,354	49,306	50,137	49,306				
	総事業費 + +	千円	236,195	213,594	203,584	239,985				
	単位あたりコスト(-) ÷	円	830	722	653	769				
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	236,195	213,594	203,584	239,985				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0					
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	施設修繕		405	回	6,033					
	光熱水費・電話料		32	館	35,450					
	施設保守管理委託		32	館	13,899					
	その他 (消耗品費 外)				9,864					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 270 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	105.4	活動指標(2)の 19年度達成率%	109.7	19年度予算 執行率%	87.3
		施設の老朽化が進み、修繕費が増えた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		<ul style="list-style-type: none"> 一部の区民に対するサービスとなっていた入浴事業を20年3月末をもって終了した。 高額な備品等の設置及び維持管理について、一部を買取りからリースに切り換え、常に最良の状態のものを利用者に提供できるように改善した。 					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	<ul style="list-style-type: none"> 事業開始当初は、高齢者の「憩いの場」として設置。17年9月に策定した「新たな敬老会館のあり方方針」により、従来の役割・機能に、「いきがい学び」、「ふれあい交流」、「健康づくり」の役割・機能を加える。 NPO法人等との協働による施設運営の拡大により、全館の利用者合計が始めて30万人を超えた。 事業開始当初から行っていた入浴事業を終了した。 					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	入浴事業の終了に対し、一部の利用者から苦情があったが、多くの利用者からは好意的に受け取られている。					
	今後の予測	NPO法人等との協働化の拡大と併せて、これからの長寿社会に対応した施設改修等を進めていく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由)	理由:長寿社会の進展の中で、ゆうゆう館の果たす役割・機能が大きく注目されている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容:これからの長寿社会に対応した施設改修が必要であり、かつ施設の老朽化等による修繕も今後ますます増加する。					
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容:これからの長寿社会に対応した、より有効な施設改修の実施。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:協働事業の参加者にはある程度の負担を求めることは可能だが、生涯現役社会の地域拠点として、一人暮らし高齢者や引きこもり高齢者なども視野に入れた施設運営においては、利用者に負担を求めることは難しい。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:これからの長寿社会に対応した施設改修が必要であり、かつ施設の老朽化等による修繕も今後ますます増加すると思われる。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 協働事業の実施とその波及効果から、ゆうゆう館全館での利用者総数は、はじめて30万人を超えることになった。また、ほとんど利用がなかった前期高齢者層の利用も増加しつつある。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 <ul style="list-style-type: none"> ゆうゆう館全館でのNPO法人等との協働による施設運営を目指す。 利用の少ない夜間開館について、その活用方法等を検討する。 これからの長寿社会に対応した施設となるよう、和室の洋室化や浴室等の小集会室化などの施設改修を段階的に実施する。 	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ゆうゆう館協働事業や介護予防事業の拡大に伴い、既存の高齢者団体との利用競合が発生し、多数の意見要望が寄せられている。また、和室の洋室化などの改修工事により、複数の館が一時的に休館になる状況がそれに拍車をかけている。今後、現行のゆうゆう館の利用率(利用時間)などの見直しを進めるとともに、ゆうゆう館協働事業や介護予防事業の実施方法等について再度検討を行う。	
	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 <ul style="list-style-type: none"> 12館で、和室の洋室化や浴室等の小集会室化などの施設改修を実施する。 老朽化が進む高額な買取り備品等のリース化を図る。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ゆうゆう高円寺南館の改築		20年度予算コード	007	整理番号	275	枝番号							
担当部課名	保健福祉部高齢者施策課		コード	142100	昨年度 整理番号	193									
係名	管理係計画推進担当		連絡先 電話番号	2243											
上位施策名		No	30	高齢者の社会参加と交流の拡大											
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	18年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	(3)	施策番号	事業コード	2				
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業	根拠法令等							
	対象	<input type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	(1) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 (2) 老人福祉法第4条 (3) 老人憩の家の設置運営について									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	実施計画に基づき、老朽化したゆうゆう館を選定し、改築する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 従来の機能・役割である「憩いの場」に、「いきがい学びの場」「ふれあい交流の場」「健康づくりの場」としての役割・機能を加えた施設にする。									
	活動指標名(式)	(1) ゆうゆう館(旧敬老会館)改築数(累計) (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) ゆうゆう館数に対する改築したゆうゆう館数の割合 (2)									
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%							
	活動指標(1)	館	0	1	1	2	3	33.3							
	活動指標(2)														
	成果指標(1)	%	0.0	3.0	3.0	6.1	9.1	33.0							
総事業費・コスト把握	事業費	千円	373	59,800	55,122	105,934	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)								
	(内) 投資的経費等	千円	373	59,800	55,122	105,934									
	(内) 委託費	千円	373	59,800	55,122	101,204									
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.25	0.30	0.30	0.30	この事務事業評価は、「ゆうゆう館改築」という大きな枠ではなく、施設単体の改築工事(この場合は、ゆうゆう高円寺南館の改築工事)に対する評価となるが、活動指標名及び成果指標名は、「ゆうゆう館改築」と大きな枠で捉えて設定する。								
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	2,265	2,742	2,742					2,742				
		非常勤職員分	千円	0	0	0					0				
	総事業費 + +	千円	2,638	62,542	57,864	108,676									
	単位あたりコスト(-)÷	円		2,742,000	2,742,000	1,371,000									
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0					0				
		国・都等からの支出金	千円	0	7,500	7,500					0				
特定財源計 +		千円	0	7,500	7,500	0									
差引: 一般財源 -		千円	2,638	55,042	50,364	108,676									
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0										
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)										
	ゆうゆう高円寺南館実施設計		1	所	884										
	ゆうゆう高円寺南館解体工事		1	所	5,237										
	ゆうゆう高円寺南館改築工事		1	所	47,921										
	ゆうゆう高円寺南館工事監理		1	所	1,080										
その他 ()				0											

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 275 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	92.2
		ゆうゆう高円寺南館の実施設計は、平成18年度から引き続き実施し完了した。改築工事に先立ち、解体工事を予定とおり実施し、平成19年10月から改築工事が始まった(進捗率14.36%)。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		ゆうゆう高円寺南館の解体工事及び改築工事は、計画とおり実施することができた。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	昭和40年代に建設された施設が多く、建物自体の老朽化が進んでいる。施設の玄関への長いスロープや施設内の段差、トイレの男女共用など高齢者向け施設としては、現在では考えられないような設備がそのまま残っている。また、和室2、洋室、茶室等からなる部屋の構成も現在の高齢者需要にあわない。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	学識経験者、利用団体代表、区民代表、区職員で構成される「新たな時代の敬老会館のあり方検討会」が開催され、敬老会館の役割・機能について従来の「憩いの場」に加えて、「いきがい学びの場」「ふれあい交流の場」「健康づくりの場」の4本柱を基本とする提言を受けた(平成17年9月)。					
	今後の予測	団塊の世代がまもなく高齢者となり、利用対象者は今後も増加する。それに伴い、元気高齢者層がこれまでの活動から一歩進んだ形で自らの生きがいを充実させる拠点として活用したり、虚弱な高齢者にも利用しやすい施設整備が望まれていくと思われる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 高齢者人口がますます増える中で、元気な高齢者の拠点となる場所へのニーズも増える。また、虚弱な高齢者を支えていく役割も重要となっており、ゆうゆう館の果たす役割は大きい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: ゆうゆう館の改築はその目的が明確であるため、その目的以上の成果を付加することは困難である。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: ゆうゆう館の改築をするために、利用者負担を強いることは適当ではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: ゆうゆう館の改築工事については、入札で業者を選定している。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	ゆうゆう館の改築工事は、高度な専門知識を有する建築会社・設計事務所に工事請負・設計委託を行っている。					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成22年度までにゆうゆう館の改築を3館で実施する。なお、ゆうゆう高円寺南館は、平成21年1月末の竣工を目指す。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 改築工事を実施するにあたっては、併設施設(保育園・児童館等)との調整が必要となる。 改築工事の対象館を設定するにあたっては、関係各課と協議を行い、調整する必要がある。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 ゆうゆう高円寺南館の改築工事は、平成21年1月竣工予定であるため。		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		敬老会館改築			20年度予算コード	整理番号	276	枝番号			
担当部課名	保健福祉部高齢者施策課	コード	142100		昨年度 整理番号	193					
係名	管理係計画推進担当	連絡先 電話番号	2243								
上位施策名		No	30		高齢者の社会参加と交流の拡大						
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	17 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	(3)	施策番号	事業コード	2
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象	<input type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	根拠法令等					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	実施計画に基づき、老朽化したゆうゆう館(旧敬老会館)を選定し、改築する。				(1) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 (2) 老人福祉法第4条 (3) 老人憩の家の設置運営について					
	活動指標名(式)	(1) ゆうゆう館(旧敬老会館)改築数(累計) (2)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 従来の機能・役割である「憩いの場」に、「いきがい学びの場」「ふれあい交流の場」「健康づくりの場」としての役割・機能を加えた施設にする。 成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) ゆうゆう館数に対する改築したゆうゆう館数の割合 (2)					
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%			
	活動指標(1)	館	0	1	1	2	3	33.3			
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	%	0.0	3.0	3.0	6.1	9.1	33.0			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	48,521	50,317	49,547	0	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円	48,521	50,317	49,547	0					
	(内) 委託費	千円	48,521	43,518	43,411	0					
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.30	0.30	0.30	0.00	この事務事業評価は、「ゆうゆう館改築」という大きな枠ではなく、施設単体の改築工事(この場合は、ゆうゆう高円寺南館の改築工事)に対する評価となるが、活動指標名及び成果指標名は、「ゆうゆう館改築」と大きな枠で捉えて設定する。 ゆうゆう今川館は平成19年8月に竣工したため、平成20年度の事業費は計上していない。				
	人件費	千円	2,718	2,742	2,742	0					
	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	0					
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0					
	総事業費 + +	千円	51,239	53,059	52,289	0					
	単位あたりコスト(-)÷	円		2,742,000	2,742,000	0					
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0					0
国・都等からの支出金		千円	7,500	0	0	0					
特定財源計 +		千円	7,500	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	43,739	53,059	52,289	0					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0							
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)						
	ゆうゆう今川館改築工事		1	所	43,411						
	ゆうゆう今川館改築に伴う備品・消耗品購入		1	式	6,090						
	ゆうゆう今川館改築に伴う備品運搬		1	式	24						
	その他 ()				22						

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 276 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	98.5
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		ゆうゆう今川館の改築工事は平成18年度から引き続き実施し、平成19年8月末に竣工した。平成19年12月の開設にあたり、ゆうゆう館運営に必要な備品・消耗品を購入した。また、改築工事中に高齢者活動支援センターに一時保管していた備品の運搬を実施した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	昭和40年代に建設された施設が多く、建物自体の老朽化が進んでいる。施設の玄関への長いスロープや施設内の段差、トイレの男女共用など高齢者向け施設としては、現在では考えられないような設備がそのまま残っている。また、和室2、洋室、茶室等からなる部屋の構成も現在の高齢者需要にあわな					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	学識経験者、利用団体代表、区民代表、区職員で構成される「新たな時代の敬老会館のあり方検討会」が開催され、敬老会館の役割・機能について従来の「憩いの場」に加えて、「いきがい学びの場」「ふれあい交流の場」「健康づくりの場」の4本柱を基本とする提言を受けた(平成17年9月)。					
	今後の予測	団塊の世代がまもなく高齢者となり、利用対象者は今後も増加する。それに伴い、元気高齢者層がこれまでの活動から一歩進んだ形で自らの生きがいを充実させる拠点として活用したり、虚弱な高齢者にも利用しやすい施設整備が望まれていくと思われる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 高齢者人口がますます増える中で、元気な高齢者の拠点となる場所へのニーズも増える。また、虚弱な高齢者を支えていく役割も重要となっており、ゆうゆう館の果たす役割は大きい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: ゆうゆう館の改築はその目的が明確であるため、その目的以上の成果を付加することは困難である。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: ゆうゆう館の改築をするために、利用者には負担を強いることは適当ではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: ゆうゆう館の改築工事については、入札で業者を選定している。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	ゆうゆう館の改築工事は、高度な専門知識を有する建築会社・設計事務所に工事請負・設計委託を行っている。					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成22年度までにゆうゆう館の改築を3館で実施する。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	ゆうゆう今川館の改築工事は、平成19年8月31日に竣工したため。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ゆうゆう館の改修			20年度予算コード	009	整理番号	277	枝番号	1			
担当部課名	保健福祉部高齢者施策課		コード	142100		昨年度 整理番号	193						
係名	管理係計画推進担当		連絡先 電話番号	2243									
上位施策名		No	30		高齢者の社会参加と交流の拡大								
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		17年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード		
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		老朽化したゆうゆう館		(1) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 (2) 老人福祉法第4条 (3) 老人憩の家の設置運営について						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		介護予防拠点としてゆうゆう館を利用するため、ゆうゆう館を改修する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		介護予防事業を実施し、地域の介護予防拠点として活用していく。						
	活動指標名(式)		(1) 介護予防拠点の機能を持ったゆうゆう館数(累計)		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) ゆうゆう館数に対する介護予防拠点機能を持ったゆうゆう館数の割合 (2)						
指標		区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%				
		活動指標(1)	館	5	9	9	14	21	42.9				
		活動指標(2)											
		成果指標(1)	%	15.2	24.2	24.2	42.4	63.6	38.1				
		成果指標(2)											
総事業費・コスト把握		事業費	千円	29,309	14,327	14,004	30,000	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)					
		(内) 投資的経費等	千円	29,309	14,327	14,004	30,000						
		(内) 委託費	千円	29,309	14,327	14,004	30,000						
		職員数(常勤 非常勤)	人	0.40	0.25	0.20	0.30	ゆうゆう館数に高齢者活動支援センターも含むものとする。ゆうゆう館と高齢者活動支援センターの合計は33館となる。 改築により介護予防拠点の機能を持ったゆうゆう館も活動指標の館数に加えている(19年度事務事業評価は、その操作をしていないので注意)。					
		人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,624	2,285	1,828						2,742
			非常勤職員分	千円	0	0	0						0
		総事業費 + +	千円	32,933	16,612	15,832	32,742						
		単位あたりコスト(-)÷	円	724,800	253,889	203,111	195,857						
		財源	受益者負担分	千円	0	0	0						0
			国・都等からの支出金	千円	29,510	14,327	14,003	30,000					
特定財源計 +	千円		29,510	14,327	14,003	30,000							
差引:一般財源 -	千円		3,423	2,285	1,829	2,742							
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0								
19年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)				
		介護予防拠点整備(ゆうゆう四宮館改修)					1	所	7,306				
		介護予防拠点整備(ゆうゆう和田館改修)					1	所	6,698				
		その他 ()							0				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 277 枝番号 1

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	97.7
		介護予防拠点整備のため、ゆうゆう四宮館及びゆうゆう和田館で改修工事を実施した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		介護予防拠点化のための改修工事は、計画どおり実施することができた。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	昭和40年代に建設された施設が多く、建物自体の老朽化が進んでいる。施設の玄関への長いスロープや施設内の段差、トイレの男女共用など高齢者向け施設としては現在では考えられないような設備がそのまま残っている。また、和室2、洋室、茶室、浴室等からなる部屋の構成も現在の高齢者需要にあわない。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	学識経験者、利用団体代表、区民代表、区職員で構成される「新たな時代の敬老会館のあり方検討会」が開催され、敬老会館の役割・機能について従来の「憩いの場」に加えて、「いきがい学びの場」、「ふれあい交流の場」、「健康づくりの場」の4本柱を基本とする提言を受けた(平成17年9月)。					
	今後の予測	団塊の世代がまもなく高齢者となり、利用対象者は今後も増加する。それに伴い、元気高齢者層がこれまでの活動から一歩進んだ形で自らの生きがいを充実させる拠点として活用したり、虚弱な高齢者にも利用しやすい施設整備が望まれていくと思われる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由)	理由: 高齢者人口がますます増える中で、元気な高齢者の拠点となる場所へのニーズも増える。また、虚弱な高齢者を支えていく役割も重要となっており、ゆうゆう館の果たす役割は大きい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: ゆうゆう館の改修は、その目的が明確であるため、その目的以上の成果を付加することは困難である。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: ゆうゆう館を改修するために、利用者に負担を強いることは適当ではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 改修工事については入札で業者を選定している。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	ゆうゆう館の改修・改築工事は、高度な専門知識を有する建築会社・設計事務所に工事請負・設計委託を行っている。					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成22年度までに介護予防拠点化したゆうゆう館を21館整備する。						
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 改修工事を実施するにたたって、併設施設(保育園・児童館等)との調整が必要となる。 改修工事対象館を設定する場合、関係各課と協議を行い、調整する必要がある。						
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input checked="" type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
(2) 理由 平成21年度には、介護予防拠点整備のため、ゆうゆう館の改修を3館で実施する予定。							

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者活動支援センターの改修			20年度予算コード	整理番号	277	枝番号	2	
担当部課名	保健福祉部高齢者施策課		コード	142100	昨年度 整理番号					
係名	管理係計画推進担当		連絡先 電話番号	2243						
上位施策名		No	30		高齢者の社会参加と交流の拡大					
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		19年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業			
	事業の種類		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード			
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 老朽化した高齢者活動支援センター				根拠法令等 (1) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 (2) 老人福祉法第4条 (3) 老人憩の家の設置運営について			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		介護予防拠点として高齢者活動支援センターを利用するため、高齢者活動支援センターを改修する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 介護予防事業を実施し、地域の介護予防拠点として活用していく。			
	活動指標名(式)		(1) 介護予防拠点の機能を持ったゆうゆう館数(累計) (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) ゆうゆう館数に対する介護予防拠点機能を持ったゆうゆう館数の割合 (2)			
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%		
	活動指標(1)	館	5	9	9	14	21	42.9		
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	%	15.2	24.2	24.2	42.4	63.6	38.1		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	0	2,708	2,559	0	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円	0	2,708	2,559	0				
	(内) 委託費	千円	0	2,708	2,559	0				
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.00	0.10	0.10	0.00	ゆうゆう館数に高齢者活動支援センターも含むものとする。ゆうゆう館と高齢者活動支援センターの合計は33館となる。			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	914	914	0	改築により介護予防拠点の機能を持ったゆうゆう館も活動指標の館数に加えている(19年度事務事業評価は、その操作をしていないので注意)。		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費 ++	千円	0	3,622	3,473	0	「高齢者活動支援センターの改修」は「ゆうゆう館の改修」と同様、介護予防拠点整備を目的としている。そのため、活動指標名及び成果指標名についても「ゆうゆう館の改修」と同様のものとする。			
	単位あたりコスト(-)÷	円	0	101,556	101,556	0				
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0				0
		国・都等からの支出金	千円	0	2,708	2,558				0
特定財源計 +		千円	0	2,708	2,558	0				
差引: 一般財源 -	千円	0	914	915	0					
受益者負担比率 ÷	%		0.0	0.0						
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	介護予防拠点整備(高齢者活動支援センター改修)		1	所	2,559					
	その他 ()				0					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 277 枝番号 2

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	94.5
		介護予防拠点整備のため、高齢者活動支援センター(機能訓練室)で改修工事を実施した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		介護予防拠点化のための改修工事は、計画どおり実施することができた。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	昭和40年代に建設された施設が多く、建物自体の老朽化が進んでいる。施設の玄関への長いスロープや施設内の段差、トイレの男女共用など高齢者向け施設としては現在では考えられないような設備がそのまま残っている。また、和室2、洋室、茶室、浴室等からなる部屋の構成も現在の高齢者需要にあわない。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	学識経験者、利用団体代表、区民代表、区職員で構成される「新たな時代の敬老会館のあり方検討会」が開催され、敬老会館の役割・機能について従来の「憩いの場」に加えて、「いきがい学びの場」、「ふれあい交流の場」、「健康づくりの場」の4本柱を基本とする提言を受けた(平成17年9月)。					
	今後の予測	団塊の世代がまもなく高齢者となり、利用対象者は今後も増加する。それに伴い、元気高齢者層がこれまでの活動から一歩進んだ形で自らの生きがいを充実させる拠点として活用したり、虚弱な高齢者にも利用しやすい施設整備が望まれていくと思われる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 高齢者人口がますます増える中で、元気な高齢者の拠点となる場所へのニーズも増える。また、虚弱な高齢者を支えていく役割も重要となっており、ゆうゆう館の果たす役割は大きい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: ゆうゆう館の改修は、その目的が明確であるため、その目的以上の成果を付加することは困難である。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: ゆうゆう館を改修するために、利用者に負担を強いることは適当ではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 改修工事については入札で業者を選定している。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	ゆうゆう館の改修・改築工事は、高度な専門知識を有する建築会社・設計事務所に工事請負・設計委託を行っている。					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成22年度までに介護予防拠点化したゆうゆう館を21館整備する。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 改修工事を実施するにたたって、併設施設(保育園・児童館等)との調整が必要となる。 改修工事対象館を設定する場合、関係各課と協議を行い、調整する必要がある。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 高齢者活動支援センター(機能訓練室)の改修は、既に終了したため、予算は計上しない。	